

## 第22回



# 俳句甲子園

(全国高等学校俳句選手権大会)

## 実施報告書

主催：NPO法人俳句甲子園実行委員会 共催：松山市、愛媛県

後援：文部科学省、(公社)全国高等学校文化連盟 ほか

【大会最優秀句・文部科学大臣賞】

### 中腰の世界に玉葱の匂ふ





## 高校生にしか 語れない 俳句がある

### <俳句甲子園の目的>

全国各地から俳句という文学を介して高校生たちが松山に集い、日本語を操る能力の向上、将来的な日本俳句文学の興隆のみならず、高校生相互の文化的交流、更には大会に関わる異世代との社会的交流を深め、豊かな人間性を育むことを目的としています。

### <開催趣旨>

誰でもふと口ずさむことができ、フランス人に「生きる芸術」と呼ばれた俳句。P. ピカソが「広々とした自由」と呼んだ俳句。現在全国の俳句愛好者は500万人を超え、いまや「俳句の時代」といわれるほど、この小さな詩形は、日本人の日々の暮らしに溶け込んでいます。とりわけ愛媛県では、近世から階層を問わずあらゆる分野の人々が俳諧に親しんできました。中世には神仏に捧げる法楽連歌が多く残されており、明治以降には俳句を近代の詩として再生させた正岡子規をはじめとして、高浜虚子、河東碧梧桐、中村草田男、石田波郷、芝不器男、富沢赤黄男など、さまざまな個性に彩られ

た俳人を輩出した伝統的風土があります。

俳句は、現代を生きる人々の心をく五・七・五という十七音に凝縮されたわずかな言葉の空間に解き放ち、またひとつの作品が読者との間にさまざまな読み方の回路を開き、いろいろに読むことができるという自在な活力にも満ちています。各地から俳句に親しむ高校生が一堂に参集し、俳句を楽しみ、交流することは、本来「座」に集う人々の共同の文芸であった俳句に相応しく、そこから生まれる人間的な交流は、高校生にとって国語教育の一環としてのみならず、新鮮で貴重な社会的経験となり、豊かな人間性を育むであろうと考えます。

また、次代を担う若者たちの新鮮な発想と創造性、しなやかで軽やかな感受性は、この小さな詩の未知の魅力を我々の前に開いてくれることでしょう。

以上のように<俳句甲子園>は俳句を通じ地域間・世代間の交流と若者の文化活動の活性化に必ず寄与するものと考えます。

(1997年当時作成)

## <大会運営>

大会の運営はNPO法人を中心としながら、大会を卒業したOBOGや市民で構成される150名以上のボランティア、地元松山市の職員が連携しながら実施します。また文部科学省や、全国高等学校文化連盟などの後援もいただき、高校生の良き学びの場、新たな交流や成長の場となるよう配慮した運営をしています。

## <大会スケジュール>

6月に地方大会、8月に全国大会を行います。参加可能な地方大会会場が近くに無い場合等は投句審査（句のみの書類選考）にてエントリーする事も可能です。

## <22回大会日程>

1月9日…「大会募集要項」「開催要綱」発表

4月4日…地方大会兼題 発表

5月9日…エントリー締め切り

6月8日～16日…地方大会

(全国18都市25会場)

6月20日…全国大会出場チーム 発表

8月16日～18日…全国大会

### ◆大会1日目

ウェルカムパーティー、組合せ抽選、  
敗者復活戦兼題発表・提出

### ◆大会2日目

開会式、予選リーグ、予選トーナメント

### ◆大会3日目

敗者復活戦、決勝リーグ、決勝、表彰式、  
フェアウェルパーティー

## <兼題>

### ◆地方大会

「風光る」「ぶらんこ」「蝶」

「カーネーション」

### ◆全国大会

予選リーグ第1・2試合「夏の月」

予選リーグ第3・4試合「冷蔵庫」

予選リーグ第5・6試合「毛虫」

予選トーナメント「サルビア」

敗者復活戦「葡萄」

決勝リーグ第1試合「虫籠」

決勝リーグ第2試合「霧」

決勝リーグ第3試合「玉葱」

決勝戦「新」

## <審査員長>

高野 ムツオ（小熊座主宰）／西村 和子（知音代表）／中原 道夫（銀化主宰）／正木 ゆう子（紫薇同人）／星野 高士（玉藻主宰）／小澤 實（澤主宰）／夏井 いつき（いつき組組長）／岸本 尚毅（天為、秀）／関 悦史（翻車魚同人）／鶴田 智哉（オルガン）／阪西 敦子（ホトトギス、円虹）／高柳 克弘（鷹編集長）／神野 紗希（現代俳句協会青年部長）

## <ウェルカムパーティー>

俳都松山に到着した選手たちを歓迎するウェルカムパーティーを松山大学で開催しました。審査員長と共にみかんジュースで乾杯。組合せ抽選を行いました。歓談後は敗者復活戦の兼題「葡萄」が発表され、俳句を提出しました。戦いはもう始まっています。



## <エントリーチーム>

35都道府県95校120チームからのエントリーがあり、22都道府県29校32チームが全国大会へ出場しました(うち4校4チームが全国大会初出場)。

都道府県名	チーム名	エントリー回数	参加区分・会場
北海道	北海道小樽潮陵高等学校 ★	6	地方大会・札幌会場
	北海道旭川東高等学校A・B	17	地方大会・札幌会場
	北海道札幌西高等学校	初	地方大会・札幌会場
青森県	青森県立弘前高等学校 ★	5	地方大会・秋田会場
	弘前学院聖愛高等学校	13	投句
岩手県	岩手県立水沢高等学校A・B (Bチーム ★)	15	地方大会・仙台会場
	盛岡中央高等学校	8	投句
	岩手県立盛岡第一高等学校	8	投句
	岩手県立盛岡北高等学校	初	投句
宮城県	仙台白百合学園高等学校	13	地方大会・仙台会場
	宮城県小牛田農林高等学校	12	投句
秋田県	秋田県立秋田西高等学校A・B	7	地方大会・秋田会場
	秋田県立秋田北高等学校	初	地方大会・秋田大会
山形県	山形県立山形南高等学校	3	地方大会・仙台会場
	山形県立山形西高等学校	3	地方大会・仙台会場
福島県	福島県立磐城高等学校A・B (Aチーム ★)	6	地方大会・須賀川会場
	福島県立須賀川高等学校	初	地方大会・須賀川会場
	福島県立須賀川桐陽高等学校A・B	初	地方大会・須賀川会場
茨城県	茨城県立並木中等教育学校	4	地方大会・東京会場
	茨城県立結城第二高等学校	8	地方大会・前橋会場
栃木県	栃木県立宇都宮高等学校 ★	初	地方大会・前橋会場
群馬県	群馬県立高崎高等学校	2	地方大会・東京会場
	高崎商科大学附属高等学校	5	地方大会・前橋会場
	群馬県立太田高等学校	7	地方大会・前橋会場
埼玉県	星野高等学校A・B (Bチーム ★)	3	地方大会・前橋会場
東京都	海城高等学校A・B	6	地方大会・東京会場
	開成高等学校 ★	19	地方大会・東京会場
	立教池袋高等学校A・B (Aチーム ◎、Bチーム ★)	9	地方大会・東京会場
	穎明館高等学校	2	投句
神奈川県	神奈川県立横浜翠嵐高等学校	3	地方大会・横浜会場
	神奈川県立津久井高等学校 ★	6	地方大会・横浜会場
	慶應義塾湘南藤沢高等部A・B	7	地方大会・横浜会場
	横浜市立横浜サイエンスフロンティア高等学校	6	地方大会・横浜会場
石川県	石川県立金沢錦丘高等学校A・B (Aチーム ★)	5	地方大会・金沢会場
	石川県立金沢泉丘高等学校	9	地方大会・金沢会場
長野県	長野県屋代高等学校	6	地方大会・前橋会場
	長野清泉女学院高等学校	3	地方大会・前橋会場
岐阜県	岐阜県立大垣商業高等学校	6	地方大会・大垣会場
	聖マリア女学院高等学校A・B	6	地方大会・大垣会場
	岐阜県立飛騨神岡高等学校	14	地方大会・金沢会場
	大垣日本大学高等学校A・B	初	地方大会・大垣会場
静岡県	静岡県立浜名高等学校	4	地方大会・名古屋会場
	静岡県立浜北西高等学校	初	地方大会・名古屋会場
愛知県	愛知県立豊橋西高等学校 ★	4	地方大会・名古屋会場
	名古屋高等学校A・B (A・Bチーム ◎)	8	地方大会・名古屋会場
	愛知県立幸田高等学校A・B (Aチーム ★)	18	地方大会・名古屋会場
	愛知県立岡崎東高等学校A・B (Aチーム ◎)	4	地方大会・名古屋会場
三重県	三重県立宇治山田高等学校	12	地方大会・大垣会場
	高田高等学校A・B (A・Bチーム ★)	17	地方大会・大垣会場

(★は地方大会優勝による全国大会出場チーム、◎は投句審査による全国大会出場チーム)

都道府県名	チーム名	エントリー回数	参加区分・会場
滋賀県	近江兄弟社高等学校	3	地方大会・彦根会場
	<b>滋賀県立彦根東高等学校 ★</b>	3	地方大会・彦根会場
	滋賀県立河瀬高等学校	初	地方大会・彦根会場
京都府	<b>洛南高等学校A・B (Aチーム ◎)</b>	17	地方大会・大阪会場
	洛星高等学校	初	地方大会・彦根会場
	京都府立北嵯峨高等学校	初	投句
大阪府	<b>大阪桐蔭高等学校 ◎</b>	4	地方大会・大阪会場
兵庫県	<b>灘高等学校 ★</b>	6	地方大会・大阪会場
和歌山県	和歌山県立桐蔭高等学校	4	地方大会・和歌山会場
	和歌山県立海南高等学校A・B	3	地方大会・和歌山会場
	<b>和歌山県立向陽高等学校 ★</b>	4	地方大会・和歌山会場
	智辯学園和歌山高等学校	初	地方大会・和歌山会場
鳥取県	鳥取県立米子工業高等学校	2	地方大会・出雲会場
島根県	<b>島根県立三刀屋高等学校A・B (Aチーム ★)</b>	5	地方大会・出雲会場
	島根県立平田高等学校	5	地方大会・出雲会場
岡山県	就実高等学校	12	地方大会・岡山会場
	<b>岡山県立岡山朝日高等学校A・B (Aチーム ★)</b>	9	地方大会・岡山会場
	岡山県立新見高等学校	初	地方大会・岡山会場
山口県	山口県立柳井商工高等学校	3	地方大会・防府会場
	<b>山口県立徳山高等学校 ★</b>	6	地方大会・防府会場
	山口県立高森高等学校A・B	2	地方大会・防府会場
	山口県立萩高等学校	2	投句
愛媛県	<b>愛媛県立宇和島東高等学校 ★</b>	17	地方大会・松山会場
	愛光高等学校	15	地方大会・松山会場
	<b>愛媛県立松山東高等学校A・B (Aチーム ◎)</b>	21	地方大会・松山会場
	済美平成中等教育学校	15	地方大会・松山会場
	愛媛県立松山西中等教育学校A・B	11	地方大会・松山会場
	聖カタリナ学園高等学校	4	地方大会・松山会場
	済美高等学校	13	地方大会・松山会場
	新田青雲中等教育学校	7	地方大会・松山会場
	愛媛県立新居浜西高等学校A・B	8	地方大会・松山会場
	<b>愛媛県立今治西高等学校 ★</b>	14	地方大会・松山会場
	愛媛県立松山中央高等学校	14	地方大会・松山会場
	<b>愛媛県立今治西高等学校伯方分校A・B (Aチーム ★)</b>	20	地方大会・松山会場
高知県	高知学芸高等学校	2	地方大会・岡山会場
福岡県	博多高等学校	6	地方大会・福岡会場
	<b>福岡県立明善高等学校 ★</b>	7	地方大会・福岡会場
	福岡県立筑紫丘高等学校	8	地方大会・福岡会場
	福岡雙葉高等学校	8	地方大会・福岡会場
	祐誠高等学校	初	地方大会・福岡会場
熊本県	熊本信愛女学院高等学校	19	地方大会・福岡会場
大分県	大分県立大分上野丘高等学校	3	投句
宮崎県	宮崎県立宮崎西高等学校	5	投句
	宮崎県立宮崎南高等学校	初	投句
沖縄県	<b>興南高等学校 ★</b>	4	地方大会・福岡会場
	沖縄県立首里高等学校	12	投句

# 全国大会



北海道小樽潮陵高等学校  
(北海道)



青森県立弘前高等学校  
(青森県)



岩手県立水沢高等学校  
(岩手県)



福島県立磐城高等学校  
(福島県)



開成高等学校  
(東京都)



神奈川県立津久井高等学校  
(神奈川県)



石川県立金沢錦丘高等学校  
(石川県)



高田高等学校A  
(三重県)



名古屋高等学校B  
(愛知県)



愛知県立岡崎東高等学校  
(愛知県)



滋賀県立彦根東高等学校  
(滋賀県)



洛南高等学校  
(京都府)



岡山県立岡山朝日高等学校  
(岡山県)



山口県立徳山学校  
(山口県)



愛媛県立今治西高等学校  
(愛媛県)



愛媛県立今治西高等学校  
伯方分校(愛媛県)



# 出場チーム一覧



星野高等学校  
(埼玉県)



栃木県立宇都宮高等学校  
(栃木県)



立教池袋高等学校A  
(東京都)



立教池袋高等学校B  
(東京都)



高田高等学校B  
(三重県)



愛知県立幸田高等学校  
(愛知県)



愛知県立豊橋西高等学校  
(愛知県)



名古屋高等学校A  
(愛知県)



大阪桐蔭高等学校  
(大阪府)



灘高等学校  
(兵庫県)



和歌山県立向陽高等学校  
(和歌山県)



島根県立三刀屋高等学校  
(島根県)



愛媛県立宇和島東高等学校  
(愛媛県)



愛媛県立松山東高等学校  
(愛媛県)



福岡県立明善高等学校  
(福岡県)



興南高等学校  
(沖縄県)

## OBOG会

俳句甲子園経験者の有志によりOBOG会が結成され、俳句甲子園を支えています。地方大会や全国大会は、大勢のOBOGのボランティアスタッフが運営に携わり、この報告書にも彼らが撮影した写真が多く使われています。

毎年多くのOBOGが「俳句甲子園をもっと盛り上げていこう」、「俳句甲子園に恩返しを」など、様々な想いで応援してくれています。



# 予選リーグ、予選トーナメント



## <予選リーグ、予選トーナメント>

約480mの大街道商店街アーケードに8の特設ブロック会場が設けられます。参加32チームが1ブロック4チームに分かれ、決勝リーグ進出をかけ火花を散らせます。

相手の俳句のポイントを的確に見抜き、鑑賞し、質問する言葉の応酬。言葉と言葉の真剣勝負に道行く人は思わず魅了され、立ち止まります。審査員の旗が上がり勝敗が決まるたびに、会場では拍手や歓声があがります。

## <評価の基準>

### ◆作品点（10点満点）

各審査員が、提出句ごとに10点満点で俳句の創作力を総合的に評価します。



#### ◆鑑賞点（2点以内）

各審査員が、対戦ごとに質疑応答を審査して、各チームの総合鑑賞力を評価し、鑑賞力の上まわるチームにのみ2点以内の点数を付与します。

#### ◆合計ポイントが同じ場合

原則として、作品点の高いチームの勝利となります。但し、同点でかつ、減点がある場合は、減点のない又は減点数の少ないチームの勝利となります。

#### <競技の際の注意点>

◆相互の鑑賞力を促進する為、対象句側のチームによる句の自発的な解説は認めません。

◆お互いに俳句という文学的フィールドの中で、協議対象句に対する個々の見識・感受性・創造力を競い合うことを目的とする対戦であり、決して作品・個人に対する中傷誹謗の場ではありません。

# 敗者復活戦・決勝リーグ



## ＜敗者復活戦＞

ウェルカムパーティー終了後に発表される兼題で、定められた時間内に、チームで1句創作し、事前に審査員長13名が作品点上位5チームを選出します。ここに、1日目の予選トーナメントで敗れた4チームが加わり、計9チームが敗者復活戦に臨みます。敗者復活戦は各チーム代表者2名が登壇、句を披露、審査員長との質疑応答（1分）を行います。作品点と鑑賞点の合計で上位2チームを選出します。

今大会の兼題は秋の季語である「葡萄」で、「有線のメロディ朝の葡萄園」の灘高等学校が1位、「木星の輪の歪さや葡萄垂る」の高田高等学校Aが2位となり、決勝リーグへと駒を進めました。



# 決勝戦・表彰



## <決勝リーグ・決勝>

松山市総合コミュニティセンターでは、大型モニターによるパブリックビューイングが行われ、試合会場の外まで俳句甲子園の熱気に包まれます。

予選トーナメントを勝ち進んだ名古屋高等学校B、星野高等学校、青森県立弘前高等学校、和歌山県立向陽高等学校と、敗者復活戦を勝ち抜けた灘高等学校、高田高等学校Aの6チームがぶつかります。決勝リーグは「虫籠」「霧」「玉葱」を兼題として、Aブロック、Bブロックに分かれて、3校ずつが熱戦を繰り広げました。それぞれのブロックで勝ち抜いた青森県立弘前高等学校と名古屋高等学校Bが決勝戦に進みます。

「新」を兼題に戦った決勝は、青森県立弘前高等学校が3-0で名古屋高等学校Bを下し、初優勝を決めました。

## <大会結果>

優勝：青森県立弘前高等学校（青森県）

準優勝：名古屋高等学校B（愛知県）

### 特別賞(決勝リーグ進出チーム)

星野高等学校（埼玉県）

和歌山県立向陽高等学校（和歌山県）

灘高等学校（兵庫県）

高田高等学校A（三重県）

## <フェアウェルパーティー>

今年のフェアウェルパーティーは、決勝リーグの会場でもあった松山市総合コミュニティセンターの大会議室で開催しました。

熱戦を終えた選手たちを、OBORGが趣向を凝らした演出でもてなします。2日前のウェルカムパーティーでは優勝を争うライバルだった他校の選手たちが、すっかり戦友になっています。

また、OBORGたちとも交流を深め、これからの俳句活動についても考えを深める光景も見られました。

## <審査員長評(抜粋)>

正木 ゆう子 先生

たった2日でしたが、ものすごく濃く熱い、素晴らしい2日間でした。

この2日間、つぼみが花開くように、またポップコーンが一つ一つはじけるように、俳句に関わることで、皆さんが大きく成長する姿を見させていただきました。今、全部はじけて、このホールいっぱいには俳句のオーラが充満している気がします。

これが終わりではなく、皆さんにとって、これからが俳句人生の始まりです。ですから、ここに充満している、はじけた俳句のオーラをギュッと縮めて、小さくして、胸にしまって一生の宝物にしてほしいと思います。

素晴らしい2日間をともにでき、とても幸せでした。これからの皆さんの健闘を祈ります。

# 個人最優秀賞は「文部科学大臣賞」



中腰の世界に玉葱の匂ふ

## <審査員長講評(抜粋)>

鴉田 智哉 先生

「世界」という言葉を選んだことで空間の奥行きや高さといったものを意識させてくれ、想像力を駆り立ててくれる素晴らしい句。違う言葉を選ぶことで、見方や感じ方は変わってくる、そういったことまで考えさせられる、俳句の面白さも感じさせてくれました。



最優秀賞（文部科学大臣賞）

中腰の世界に玉葱の匂ふ

開成高等学校

重田 渉

〈優秀賞〉

母の新盆まんじゅうの餡こぼす

岩手県立  
水沢高等学校

高橋明花

毛虫這ふ無難を選ぶことなかれ

名古屋高等学校A

磯部 滉

毛虫這う東京までは五百キロ

岩手県立  
水沢高等学校

菅原わかば

夏の月椅子に一泊ぶんの薪

立教池袋  
高等学校B

坂田治哉

卵みなつくりものめく冷蔵庫

名古屋高等学校B

横井来季

土臭ふ原爆ドーム夏の月

愛媛県立  
今治西高等学校

川又心美

毛虫より毛虫の出づるごとく糞

愛媛県立  
松山東高等学校

小川一磨

亡き祖父の発泡酒あり冷蔵庫

愛知県立  
豊橋西高等学校

柴田莉穂

深海魚群れある真夜の冷蔵庫

愛媛県立今治西  
高等学校伯方分校

馬越理子

夕立を逃れん新食感のグミ

立教池袋  
高等学校A

草彌祐

火に毛虫与え毛虫に火を与う

愛媛県立  
宇和島東高等学校

成田永遠希

虫籠の中に体育座りの我

愛媛県立今治西  
高等学校伯方分校

仲田彩乃

国境の朝霧抜けてくるリュック

愛媛県立  
松山東高等学校

山内那南

〈入選〉

瀑布より戻りて新しき鼓膜

開成高等学校

垂水文弥

祖母にまたサルビアの名を教えけり

星野高等学校

徳丸琴乃

毛虫生くゲリラ豪雨の日本を

石川県立

川嶋桃花

炉心なお熔け落ちたまま夏の月

金沢錦丘高等学校

篠木翔

サルビアやピアニカに要る肺活量

福島県立磐城高等学校

伴野瀬里佳

サルビアに掛かる子象の水飛沫

愛知県立岡崎東高等学校

木村夢

少年は髪まで眩し毛虫焼く

愛媛県立  
宇和島東高等学校

幸田美咲

くちばしの毛虫や伸びるひなの首

岡山県立

井上大夢

虫籠の草の匂へる夜明けかな

岡山朝日高等学校

松崎美夕香

地下水は化石の匂ひ夏の月

興南高等学校

佐藤知春

冷蔵庫ひらけばうしろ気になりぬ

高田高等学校A

弘松準平

縛られた今朝の新聞終戦忌

山口県立徳山高等学校

宮下晶

サルビアや誰とみたつて淋しい日

滋賀県立彦根東高等学校

石井幸音

冷蔵庫老いをいたはるやうに閉め

神奈川県立  
津久井高等学校

小枝杏奈

玉葱を吊す電波の良くなりぬ

青森県立弘前高等学校

田口和磨

初恋は玉葱の皮剥くやうに

大阪桐蔭高等学校

柳原愛日

早朝へ軀押し出す毛虫かな

島根県立三刀屋高等学校

床次翔太

サルビアの赤は小鳥の道しるべ

灘高等学校

吉田結衣子

サルビアやハグする前に目を合はす

北海道小樽潮陵高等学校

中野葵

夏の月めんまの意味を考える

洛南高等学校

深田鈴加



# 令和元年、俳句甲子園の新たな一歩 そして… 第23回大会へ

〈お問い合わせ先〉

NPO法人 俳句甲子園実行委員会 事務局

〒790-0814 愛媛県松山市味酒町1丁目10-2 ゴールドビル味酒3F

TEL : 089-943-1512 (平日13:00~17:00)

E-mail [info@haikukoushien.com](mailto:info@haikukoushien.com)

又は 松山市総合政策部 文化・ことば課

〒790-8571 愛媛県松山市二番町四丁目7-2

TEL 089-948-6952 FAX 089-934-1913

E-mail [bunkakotoba@city.matsuyama.ehime.jp](mailto:bunkakotoba@city.matsuyama.ehime.jp)